あなたはどのDVDを旅に連れて行きますか？

朝岡 聡さん
アナウンサー・コンサート・ソムリエ

1 『ローマの休日』
世界の誰もが愛する名作。「製作50周年記念デジタル・ニューマスター版がオススメです」と朝岡さん
ローマのホテルで

2 『プッチーニ 歌劇《トスカ》』
ブルーノ・バルトレッティ指揮、ジャンフランコ・デ・ボジオ演出。舞台は本物のローマ遺跡の数々
ローマのホテルで

3 『イタリアの絶景』
NHKで2008年に放送された「あなたが選ぶイタリア絶景50」を再編集。全2巻
ローマのホテルで

私のセレクトは「ローマを旅しながらホテルで見たいDVD」。旅とは、現地に行けばすべてがわかるものではない。想像力を刺激してこそ見えてくるもの、感じられるものがたくさんあります。1は名作中の名作ですが、ジョーのアパートは今もマルグッタ51番地に残っているし、アン王女の宮殿は現在、絵画館。この映画はローマ観光案内としても優れています。ローマが舞台の名作オペラといえば『トスカ』ですが、2は、なんと物語で描かれたのと同じ、本物のローマの教会や舞台でロケをしているんです！　こんなことが可能なのも「永遠の都」だからこそ。最後のサンタンジェロ城のシーンは必見です。これらのDVDを見て主人公な気分で現地を歩けば、なんとなく滞在するより数段色濃い旅になること請け合いです。3では、空撮映像で「永遠の都」のモニュメント群を見ることができます。自分の足で歩きながら見るローマと、空から見るローマ。両方見ると、この街がいかに完成された所かよくわかると思います。

SATOSHI ASAOKA　本誌音楽コラム連載中
「最新のオペラの現場」を求めて今日も世界を飛び回り、自らクラシックコンサートの司会・プロデュースをする「コンサート・ソムリエ」。

名越康文さん
精神科医

1 『注目すべき人々との出会い』
伝説的な神秘思想家グルジェフの若き日々を描く、ピーター・ブルック監督の異色ドキュメンタリー
高級ホテルで

2 『Vフォー・ヴェンデッタ』
製作・脚本は『マトリックス』のウォシャウスキー兄弟。全体主義国家と化した近未来の英国が舞台
ビジネスホテルで

3 『ファニーとアレクサンデル』
監督はスウェーデンが生んだ名匠イングマール・ベイルマン。同国のブルジョア家族の2年間を描く大長編
地方のホテルで

1はボブ・ディランやケイト・ブッシュ、ロバート・フリップらにも巨大な影響を与えた神秘思想家のドキュメンタリーですが、見ているだけでミラーニューロンが活性化し、自分も瞑想している気分に。根本的なリフレッシュ効果があるので、都会のホテルの高層階の広い部屋でカーテンも閉め無音状態をつくり、照明も調整しながら見たいです。2は、公開当時意外に評価されず、うずもれてしまったSF革命モノですが、僕は大好き。経費不足で安いビジネスホテルに泊まらざるを得ない夜に一人で見れば、「俺だってもう一度戦える！」と勇気リンリンになること請け合い（笑）。ところで地方出張って、たまに夜の時間がぽっかり空いてしまったりしますが、そんなときには3のような、普段は見る機会をつくりにくい長〜い映画を。教養には「知識としての教養」と「感覚としての教養」がありますが、この映画で映し出される、北欧のお屋敷内の調度品がもつエロティシズムは「感覚としての教養」を身体に染みさせます。

YASUFUMI NAKOSHI　本誌映画コラム連載中
近著の『オジサンって言うな！』（主婦と生活社）が絶賛発売中。2009年4月より京都精華大学人文学部特任教授に就任。本誌の映画連載も大好評です。

中野香織さん
服飾史家・文筆家

1 『海〜The Ocean Blue〜』『アース』
ともにネイチャードキュメンタリーの最高峰。中野さんも「ぜひブルーレイで！」とのことです
リゾートホテルで

2 『ビゼー歌劇〈カルメン〉全曲』
1978年、カルロス・クライバー指揮、フランコ・ゼッフィレッリ演出。ウィーン国立歌劇場のプレミエ上映
出張先のホテルで

3 『俺たちフィギュアスケーター』
スケート界から追放された二人の男が、男性ペアとして再びフィギュアスケートに挑戦する傑作コメディ
講演の前に

就寝前や荷物整理しながらのちょっとした空き時間に見たいのが1。人間なんて広い広い地球の自然のほんのちっぽけな一部にすぎず、地球にはまだ見果てぬ美しくて崇高な景色や命がたくさんあると再確認でき、日ごろの雑事や悩みから離れたいリゾートホテルでの非日常時間の華やぎがひときわ高まる気がします。2はとにかくすべての曲が好きで、衣装や演出も素晴らしいこのDVDは、原稿作成などの友に。ドミンゴの声を流しておくだけでも血中ラテン濃度が高くなり、脳内にアドレナリンがわきでてパッションのこもった原稿が書けます。そうやって書いたものは、必ず平常濃度に冷ましてから手を入れなくてはいけませんが（笑）。大勢の人前ではあがりやすい私が、講演やパネルの直前に見るといいのが3。時間がないときはラストの演技だけでもリラックスの特効薬に。突発のトラブルにも必ず対処できる、最後は相手（聴衆）を信頼して自分を委ねる、という自己暗示もかけられ、自然に笑顔に。

KAORI NAKANO　新刊も絶賛発売中
近著『愛されるモード』『ダンディズムの系譜　男が憧れた男たち』は絶賛発売中。集英社携帯サイト「theどくしょplus」で"時代のテクスチュア"も連載中です。

©野村正治

佐藤可士和さん
アートディレクター／クリエイティブディレクター

1 『ディープ・ブルー』
BBCが7年の月日をかけて製作。深海5000mの異世界まで収めた、大自然ドキュメンタリーの超名作
タフな出張先で

2 『Alive!!〜Live at Blue Note TOKYO』
世界のジャズ界が注目するジャズピアニスト、小曽根真 THE TORIOの1st DVD。2006年のライブを収録
今年の夏のバカンスで

3 『クインテット【クラシック】』
NHK教育テレビで毎朝放映中の子ども向け音楽バラエティ
機内で

1はパリやNYなどタフな出張中、ホテルの部屋で気分転換に。2泊、3泊などの海外出張で、朝からミーティング、店舗などの現場確認、夜も取材対応やビジネスディナーなど、ハードなスケジュールの出張では、ホテルに戻ってからのわずかな時間にいかにリラックスして過ごすかが鍵。そんなときに環境ビデオとして流したい。今年の夏休みは、エクス・アン・プロヴァンスで開催される野外音楽祭「ラ・ロックダンテロン」を、小曽根さん出演のステージを中心に見に行く予定。その後ルールマラン、ムスティエ、ヴァンスなどを回り、最後はジュネーブのCERNに寄って戻りますが、オーベルジュやシャンブルドットでも素晴らしい音楽祭の余韻に浸りたいので2は必携になりそう。3はフライト中にポータブルDVDやPCで子どもと一緒に。2歳の息子が大好きなんです。パペットがクラシックを演奏する音楽番組のDVDで、非常にクオリティが高く、アレンジも面白く、大人もクラシックを気軽に楽しめます。

KASHIWA SATO　本誌連載が単行本に
待望の可士和さんデザインのFOMA、docomo PRIME Series「N-07A」が7月発売予定。"近未来のスポーツ感覚"を感じさせる仕上がりです。